

## 1. 集落協定の概要

都道府名：沖縄県

市町村名：大宜味村

協定集結集落名：塩屋漁業集落

交付金額：1,360千円

協定参加世帯数：10人（うち漁業世帯10人）

## 2. 協定締結の経緯

大宜味村の塩屋湾において、マダイ等の魚類養殖業が盛んに行なわれていましたが、漁場環境の悪化により歩留まりの低下にともない続きました漁業者の減少や高齢化が進んでおり、この状況を放置すれば、大宜味村の漁業集落は一層衰退し、当該漁業者における多面的機能も失われる懸念がある。

このため、漁場の利用に関する話し合いを通じて、集落機能を再編し、漁場の生産力向上に関する取組としてタマンの魚場監視と創意工夫を活かした新たな取組としてモズク養殖とシャコガイ養殖を新規養殖業への着業を行い、地域漁業の活性化を図るとともに集落の漁業生産活動によって発揮される多面的機能が確保され為にも、塩屋集落関係者が一致協力して集落協定を締結し、離島漁業再生支援交付金による漁業再生活動に取組こととした。

## 3. 取組内容（20年度に実施した取組について記載）

### ①漁場の生産力の向上に関する取組状況

魚場の生産力を向上のため、密漁を防ぐため魚場監視を行ない、魚場の資源回復を図り、漁獲量の増収を目指す

### ②集落の創意工夫を活かした新たな取組状況

創意工夫を活かした新たな取組として、モズク適地養殖試験やシャコガイ類養殖用基盤試験を、今後の可能性について検証していくために実施した。試験養殖が成功するよう関係者一同において協力して行くことが必要となる。これからの大宜味村塩屋漁業集落において、そうした養殖によって安定した収入が得られるよう目指す。

## 4. 取組の成果（実施した取組について記載）

本事業において禁漁期間及び区域を設定し密漁船等の監視することにより地域の漁場を守り、密漁船の減少と漁獲量の増大が期待される。

シャコガイ類養殖用基盤試験においては、未だ数年経過を見ないとはいけませんが、モズク適地養殖試験に関しては、モズクの生産が可能であることが確認された。

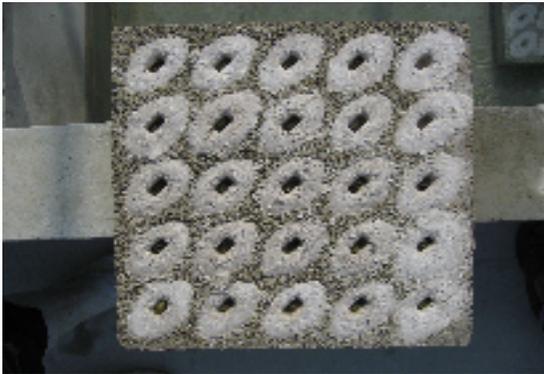
## 1 漁場の生産力向上に関する取組状況

### ○漁場監視



## 2 創意工夫を活かした新たな取組状況

### ○ シャコガイ類養殖用基盤試験 基盤状況



### シャコガイ植付状況



### シャコガイゲージ作成状況



### シャコガイゲージ作成状況



○ シャコガイ類養殖用基盤試験

シャコガイ類養殖用基盤設置状況



水面からのシャコガイ類養殖用基盤  
設置状況の確認



○ モズクの適地養殖試験

モズク種付け用水槽



モズク種付け用水槽



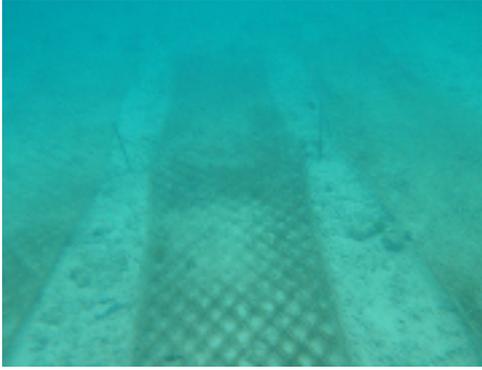
モズク網の沖出作業



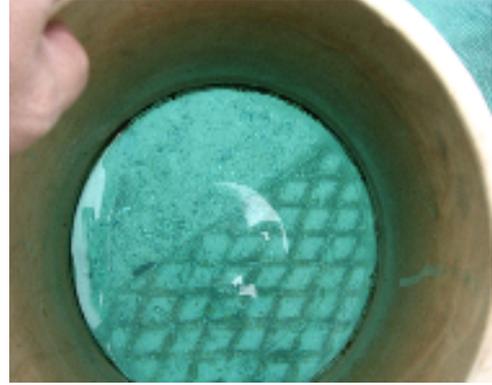
モズク網の沖出作業



モズクの種付けされた網



水面からのモズク養殖状況の確認



※3及び4については、主な取組について必要に応じて写真や数字、グラフ、図を用いて具体的なイメージが持てるよう配慮してください。

1. 提出方法：電子メールでお願いします。  
ただし、焼き付けの写真は郵送でも可。
2. 提出様式：別添様式1号、2号
3. その他：ファイル拡張子の直前に（ ）で市町村名を入力して下さい。

【例】 実施状況の公表様式1号（〇〇市）.jtd  
実施状況の公表様式2号（〇〇市）.jtd

様式が必要な方は水産課水産企画班 吉田（yoshidsa@pref.okinawa.lg.jp）までその旨メールしてください。